

2019年7月1日
日本生命保険相互会社

Efma-Accenture 共催 “Innovation in Insurance Awards” の受賞について

日本生命保険相互会社（社長：清水博、以下「当社」）は、Efma[※]が Accenture と共催する “Innovation in Insurance Awards” において、“Customer Experience” 部門で、金賞を受賞しました。国内の生命保険会社が受賞するのは初となります。

※Efma とは銀行や保険会社のイノベーションと変革の推進を目的として、1971年に設立された非営利団体。パリに本部を置き、130カ国に3,300社以上の会員を擁する。

第4回目となる “Innovation in Insurance Awards” は、世界の保険業界におけるイノベティブな取組やプロジェクトを表彰するコンテストで、今年度は世界54カ国、287の企業・団体から395件の応募案件が寄せられました。

当社は、『人工知能(AI)やOCR等の先進的なサービスや技術を業界に先駆けて取込むことで、営業職員へのサポート力を高め、「お客様の利便性・サービス向上」を目指す』という開発コンセプトのもと、ニッセイ情報テクノロジー株式会社（社長：矢部剛）を始めとした様々な業種・業態企業とのパートナーリングにより、2019年4月からタブレット型端末^{タスクル}TASKALLを導入しました。

今回の受賞は、従来属人的とされていたノウハウをAIにより標準化し、営業職員の活動の高度化・効率化を実現した点が高く評価されたものです。

今後も、このような取組を通じて、「お客様の利便性・サービス向上」「営業職員のコンサルティング力強化」「働き方の改革推進」を実現してまいります。

【受賞のポイント】



<部門>

Customer Experience

<タイトル>

^{タスカル}
TASKALL：フェイス・トゥ・フェイスと AI の融合

<取組概要>

AI を登載した^{タスカル}TASKALL（営業職員用タブレット端末）を用いた営業活動の高度化



<受賞理由>

従来、営業職員がどのようなお客様を訪問するかは、属人的なノウハウや判断に委ねられていた。今回、社内で保有するビッグデータについて人工知能（AI）による分析を行い、より最適なタイミングでお客様に訪問できるよう^{タスカル}TASKALL上に特定の条件に該当するお客様を明示化し、営業職員の活動の高度化・効率化に取組んだ点が高く評価されました。

以 上